

防災会報

松が丘ハイツ

第1号 発行日：2024年12月20日
発行責任者：防災会長 浦山哲爾
編集：防災部長 日下部 雅彦

平素よりご協力とご理解をいただきありがとうございます。2024年後半の活動報告とお知らせです。災害への備えを普段からしっかり準備しましょう。

活動報告

①10月26日の松が丘ハイツ防災訓練。

皆様のご協力とご理解を得て安否確認を行いました。今回は棟ごとの情報を北側通路で取りまとめ結果を担当自主防災会員がトランシーバーで本部に知らせる方式で行いました。安否確認後の追加対応を迅速に行うための工夫でしたが、集計終了までの時間も短縮され受付時の混乱を避けることもできました。

②11月30日 浜須賀地区防災訓練

今回は、縁が浜小学校で浜須賀地区防災訓練が実施されました。自治会役員と自主防災会員、同サポートメンバーから13名で参加しました。当日は晴天に恵まれ下記事項

の訓練に参加しました。

ビニール袋などを活用した応急処置。車椅子搬送。AEDの使い方と心肺蘇生法。

起震車での地震震動の体験、仮設テントを使った煙発生下の避難。炊き出し体験。次年度は広く参加を募りますので是非防災訓練にご参加ください。



③消火器共同購入の準備

来年の春祭りでは、消火器等の共同購入を企画中です。詳細が決まり次第別途お知らせする予定です。今しばらくお待ちください。

④防災井戸の利用法について

災害時は飲料水ではなく、生活用水としての利用を前提としています。地震直後は、水量を見ながらの運用になると思います。生活用水とは、洗濯用、トイレ排水用、食器洗浄用などです。

活動報告

防災訓練

階段安否確認者が不足している状況ですので今後改めてご協力をお願いすることがございます。

地域防災訓練

まちのちから協議会から自治会の戸数に応じて人数が振り当たされます。会場が広い場合は一般参加を募ることも念頭においていますが今回は会場が狭いため役員、自主防災会役員、サポートメンバーで対応させていただきました。

消防器共同購入

鋭意検討中です。

防災井戸

水質検査を行っていますが飲用に供する水質ではありません。

自主防災会からのお願い

①今一度防災の備えを確認しましょう。

松が丘ハイツは、自宅での避難が原則です。自治会の会費を基に自主防災会で災害の備えとして準備している物品は、災害時の連絡拠点として防災本部を設営するために必要と思われる物資です。

自治会で、住民全員の食料品、飲料水、簡易トイレなど1週間分を確保するとなると、自治会費の値上げ等見直しが必要となります。

また茅ヶ崎市の各避難所（浜須賀中学校など）も同様に必要最低限の備えしかありません。支援物資が届くまで1週間程度の時間がかかると思われます。住民全体に物資が十分供給できる保証もありません。

食料品、医薬品、飲料水の備えは原則、ご自身での確保を前提としています。新しい年を迎えるにあたり今一度防災用品のストックを見直してください。

チェックにあたり2022年度春祭りで会員に配布した東京防災の下記ページを参考にしてください。（マンションマネージャーも1冊保管しています。）

1最小限備えたいアイテム

東京防災 86~87ページ参照

2備品ユニットリスト

東京防災 88~89ページ参照

3非常用持ち出し袋

東京防災 90~91ページ参照

4誰にでもできる「日常備蓄」

東京防災 92~93ページ参照

※以前配布した冊子『東京防災』に再度目を通してください。

自宅避難

自助 共助

備えのチェック

災害時の排水制限

ゴミ、汚物の保管場所

要支援者登録

近親者の連絡

④災害時のみ支援希望で市役所に登録されている方へ見直しのお願い。

災害に支援希望者の情報が市役所から松が丘ハイツ自治会へ連絡が届くのは避難所開設が終了した後になることも予想されますので、災害発生時から1~3日遅れになることもあります。

それでは、災害時に十分な支援が行えない可能性が出てしましますので、災害時のみから常時支援希望に変更することも今一度お考えいただけませんでしょうか。

⑤遠隔地にお住まいの近親者との連絡方法の確認

広域に渡り停電するような災害の場合は携帯電話はつながりにくい状況になります。

公的なサービスなどをを利用して連絡をとる方法を今一度ご確認ください。

東京防災 226~227、272ページ参照

⑥自主防災会への参加、サポート要員の募集

自主防災会のメンバーも年齢が高くなってきましたので、負担の少ないサポート要員から地域の防災活動に参加しませんか。

登山やキャンプ経験者歓迎。趣味のノウハウが地域の皆さんに役立ちます。